

【前門晃】琉球大学法文学部教授

○平成 16 年 1 月 15 日

- 1 1973 ~ 74 年頃の辺野古地先にある平島、長島の周辺には枝サンゴ、テーブルサンゴが分布していた。資料を見るとサンゴがほとんど分布していないようだが、だとすれば、今分布するサンゴは、かろうじて生きている状態だと思われる。

サンゴが健全であれば、外からの影響に対してある程度の抵抗力もあるであろうが、かろうじて生きているところであれば、僅かな環境の変化に対しても影響を受けるおそれがある。

- 2 施設局が前に調査した地質図を見ると、嘉陽層の上に沖積層があり、奇異に見える。普通なら琉球層群とでもなるのであろうが、もし、これが本当に沖積層だとすれば、ボーリング調査による濁りの程度が強くなるおそれがある。